

《履修上の留意事項》公衆衛生学 は、2年次の公衆衛生学 と前編・後編をなすものであり、これらによって、公衆衛生学の全体像を概観するものである。公衆衛生学という科目の性質上、原則として最も新しい資料を用いて講義を進める。

《担当者名》西 基 motoi@hoku-iryuo-u.ac.jp

【概要】

わが国および世界の公衆衛生学につき、幅広い知識を習得する。

【学修目標】

精神保健、国民栄養と食品保健、医療保険、国民医療費、疾病統計、環境保健、高齢者保健、産業保健に関し、公衆衛生学的見地から説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	精神保健、国民栄養と食品保健	精神保健福祉法、国民栄養の現状など	西
2	医療保険、国民医療費	各種医療保険の概説、国民医療費の動向とその財源など	西
3	疾病統計	国民生活基礎調査、患者調査など	西
4	環境保健	環境基本法、地球環境、公害、環境汚染など	西
5	高齢者保健(1)	高齢者医療確保法など	西
6	高齢者保健(2)	介護保険法、介護保険の申請からサービス支給までの流れ、財源、介護支援専門員の役割など	西
7	産業保健(1)	労働安全衛生法、労働基準法、健康管理体制、健診、産業医、衛生管理者の役割など	西
8	産業保健(2)	労働災害、職業病とそれをもたらす要因など	西

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

原則として定期試験100%だが、提出物などを加味する場合がある。

【教科書】

『New Simple Step 公衆衛生』 高橋茂樹・西 基、総合医学社（2年次購入済）

『コ・メディカル用語事典』 西 基、丸善（電子媒体、2年次購入済）

『公衆衛生最速トレーニング365問』 西 基、総合医学社

【備考】

資料としてプリントを配付する。教科書や事典の、講義で触れた部分をマークしておくことが望ましい。

『公衆衛生最速トレーニング365問』により、医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師など様々な医療職の公衆衛生学関連の国家試験問題を中心とした問題演習を適宜行う。

【学修の準備】

予習として『New Simple Step 公衆衛生』の該当部分を読んでおくこと。復習としては、講義があった日には、講義で触れた教科書、事典、プリントの部分に必ず目を通すこと。何らかの事情で当日出来なかった場合には、その週末には行うこと(予習復習4時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

**【実務経験】**

日本専門医機構認定小児科専門医、日本医師会認定産業医、日本公衆衛生学会認定専門家、介護支援専門員。

**【実務経験を活かした教育内容】**

上記実務経験を活かし、精神保健、国民栄養と食品保健、医療保険、国民医療費、疾病統計、環境保健、高齢者保健、産業保健に関し、過去から現在に至る情報を提供して講義を進める。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している